

なかつがわ



令和4年 中津川市議会 5月臨時会・6月定例会

市の花 サラサドウダン

国指定 天然記念物
「ヒトツバタゴ自生地」



岐阜県指定 重要無形民俗文化財「蛭川杵振り踊り」 岐阜県指定 天然記念物「紅岩」

目次

議会の構成	②
5月臨時会議案	③
6月定例会議案	④
予算決算委員会報告	⑥
常任委員会報告	⑧
一般質問	⑨
特別委員会報告	⑫
令和3年度各会派の 政務活動費による取り組み報告	⑬
令和4年度各会派の取り組み	⑭
編集後記他	⑯

トピックス

- 議会の新体制が決まりました
5月の臨時会において、議長、副議長をはじめとする議会の役職等が決まりました。(2ページ)
- 令和4年度の各会派の取り組みが報告されました(14～15ページ)
- 市制70周年記念式典が開催されました
市内高校生が活躍し、式典を彩りました。(16ページ)

5月臨時会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第2号	専決処分の承認を求めることについて	-	-	承認
条例	議第37号	中津川市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	総	全会一致	全会一致
	議第38号	中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総	全会一致	賛成多数
	議第39号	中津川市特定公共賃貸住宅及び地域優良賃貸住宅管理条例及び中津川市若者定住促進住宅管理条例の一部改正について	産	全会一致	全会一致
人事	議第40号	中津川市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	-	-	同意

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

■議第39号 中津川市特定公共賃貸住宅及び地域優良賃貸住宅管理条例及び中津川市若者定住促進住宅管理条例の一部改正について

地域優良賃貸住宅及び若者定住促進住宅の一部について入居率が低い状況にあるため、入居率の向上を目指し入居要件を緩和し、入居状況等に応じた迅速かつ柔軟な入居要件の変更を可能とするものです。

- 入居要件を緩和するもの
味噌野団地

区分	改正後	改正前
退去後の定住先要件	なし	あり
入居期間	50歳到達日の属する年度末まで	原則5年
家賃(月額)	38,000円	30,000円



- 退去後の定住先に関する要件を市長が定められるよう規定を整備するもの
馬籠団地、須母田団地C棟(地域優良賃貸住宅のUIターン住宅)
阿木団地、山口団地、川上矢柱団地(若者定住促進住宅のUIターン住宅)

予算決算委員会報告(補正予算)

5月補正予算(5月25日専決)の概要

■補正を行う会計 一般会計・・・1億8,275万円

新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰対策に関する事業
1億8,275万円

(主な事業)

- ワクチン接種の体制整備・・・105,419千円
- 子育て世帯生活支援特別付金を交付
(児童手当事業)・・・31,460千円
(児童扶養手当事業)・・・45,867千円

5月臨時会は、5月19日に開催され、正副議長選挙のほか、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任、議会役職などを決定しました。

議会の構成

議長 柘植貴敏 副議長 牛田敬一



監査委員 吉村浩平



正副議長就任あいさつはこちらから↓



【常任委員会】(○委員長 ○副委員長)

◆総務企画委員会

○長谷川透○水野賢一・鷹見憲三
三浦八郎・榎直子・田口文数

◆文教民生委員会

○宮嶋寿明○粥川茂和・勝
木下律子・柘植貴敏・黒田ところ
吉村孝志

◆産業建設委員会

○糸魚川伸一○鷹見信義・大堀寿延
岡崎隆彦・吉村浩平・牛田敬一
島崎保人

◆予算決算委員会

○水野賢一○黒田ところ・議員全員

【議会運営委員会】

○島崎保人○田口文数・鷹見信義
榎直子・水野賢一・吉村孝志
長谷川透

【特別委員会】

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

○勝 彰○榎直子・鷹見信義
鷹見憲三・田口文数・島崎保人
水野賢一

◆議会改革特別委員会

○三浦八郎○岡崎隆彦・粥川茂和
大堀寿延・牛田敬一・長谷川透
宮嶋寿明

◆病院・医療等対策特別委員会

○吉村孝志○黒田ところ・吉村浩平
木下律子・柘植貴敏・糸魚川伸一

平岩正光県議会議員 第131代議長に就任



～中津川市選出の歴代県議会議長～

昭和11年	第44代	岡 孔太郎
昭和44年	第78代	伊藤 薫
平成元年	第98代	酒井 公雄
平成21年	第118代	早川 捷也
令和4年	第131代	平岩 正光

ウクライナへの人道危機救援金について



▲感謝状を代表で受け取る島崎議会運営委員長(右)

中津川市議会はウクライナへ「人道危機救援金」として議員互助会から10万円支出し、4月20日に日本赤十字社を通じて送りました。7月1日に日本赤十字社岐阜県支部から感謝状が届きましたので、報告します。

中津川市議会は3月定例会で「ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議」を全会一致で可決しています。

請願書

「中津川市の文化財資料収蔵・展示・公開、活動の拠点施設の設置を求める請願」
(全会一致 採択)

1. 請願の要旨

中津川市の貴重な文化財資料を一括収蔵、展示し、調査研究に役立て市民利用者に公開する情報発信の拠点施設として福岡地域の小学校の統廃合により廃止される小学校施設等を活用し「(仮称)中津川市歴史文化館」を整備いただきたく存じます。これによって、この地域の歴史文化遺産と伝承文化を百年先まで伝承していく学習文化施設が確保できますので早速に設置いただきたくここにお願いいたします。

2. 請願の理由

中津川市には多くの貴重な文化遺産として歴史文書史料、近代行政史料、農林業等の民俗資料や地歌舞伎、獅子舞などを始めとする無形民俗芸能が遺され、また継承されています。その他にも市内の古代遺跡から発掘された埋蔵文化財遺物が多くあり、各種美術工芸品も多く収蔵されておりその数は、総合計58,210点を数えます。

しかし、市文化財学習センターが平成26年に廃止され、令和2年に新福岡小学校建設にともない福岡郷土資料館が廃止されて貴重資料7,465点を当面の間、旧田瀬小学校に緊急収蔵されています。貴重な文化財資料が一括管理できずに日常的な調査、整理や公開の事務が困難な状態となったままであります。このような資料の分散収蔵では効果的な活用が図れず市民利用者の利便性に欠け、歴史文化の伝統や伝統芸能の継承を標榜するには、残念な施設状況にあります。

つきましては、廃止となる学校施設を活用して文化財資料を収蔵展示すれば、貴重な資料が小・中学校の児童・生徒の学習利用をはじめ高等学校、大学等の学生や専門研究者に役立ち、市民・愛好者に広く活用できるとともに中津川市を訪れる観光客の更なる誘客に繋がり、市内外・全国へ郷土の歴史・文化情報を発信する拠点となります。もちろん単に文化財を収蔵・展示するだけでなく、活用を図ることで中津川市の各地域おこしやまちづくり大いに役立つものと存じます。是非とも実現に向けてよろしくお願いいたします。

文教民生委員会意見

中津川市内に点在する文化財等の貴重な資料を、いかに収蔵し保管していくかは議会としても課題と捉えています。今後、文化財を見極め、鑑定をしっかり行い計画的に収蔵・展示・活用等に取り組んでほしいと思います。また、関わっていく人材育成についても市が育てていくという姿勢を持っていただきたいです。

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派	中津川自民クラブ														議決結果								
		氏名	藤見 憲三	大堀 寿延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩章	石橋 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	吉村 孝志	長谷川 透	高嶋 春明	藤見 信義	木下 律子		榎松 直子	牛田 敬一	田口 文数	糸魚川 伸一	粥川 茂和	三浦 八郎	黒田 ころ	
中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について		賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和4年度中津川市一般会計補正予算(第2号)		賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

※共産：日本共産党、市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、無：無党派、新：新政会、ネ：市民ネット

6月定例会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果	
			付託委員会	審査結果		
報告	報第3号	専決処分承認を求めることについて 令和4年度中津川市一般会計補正予算(第5号)	—	—	承認	
	報第4号	繰越明許費繰越計算書の報告について 一般会計(感染症予防事業等 計41事業)	—	—	—	
	報第5号	事故繰越し繰越計算書の報告について 一般会計((仮称)神坂スマートインターチェンジ事業)	—	—	—	
	報第6号	繰越計算書の報告について 下水道施設改良事業、リニア中央新幹線開通受託事業 計2事業	—	—	—	
	報第7号	繰越計算書の報告について 下水道整備事業(中津川地区、坂本地区)、特養マンホールポンプ改良事業 計3事業	—	—	—	
	報第8号	繰越計算書の報告について 医療機器等整備事業(中津川市民病院分)	—	—	—	
	条例	議第42号	中津川市交通安全事業基金条例の廃止について	総	全会一致	全会一致
		議第43号	中津川市介護保険条例の一部改正について	文	全会一致	全会一致
議第44号		中津川市国民健康保険条例の一部改正について	文	全会一致	全会一致	
その他	議第45号	財産の取得について	総	全会一致	全会一致	
	議第46号	市道路線の認定について 中津536号線(中村)	産	全会一致	全会一致	
	議第47号	市道路線の認定について 中津537号線(子野)	産	全会一致	全会一致	
	議第48号	市道路線の変更について 中津312号線(中村)	産	全会一致	全会一致	
	議第50号	工事請負契約の締結について	文	全会一致	全会一致	
予算	議第41号	令和4年度中津川市一般会計補正予算(第2号)	予	賛成多数	賛成多数	
	議第49号	令和4年度中津川市一般会計補正予算(第3号)	予	全会一致	全会一致	
請願	請願第5号	請願書「中津川市の文化財資料収蔵・展示・公開、活動の拠点施設設置を求める請願」	文	採択	採択	

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

■議第45号 財産の取得について

中消防署の救急車を老朽化(取得後13年経過、走行距離24万キロメートル)により更新するものです。納入期限：令和5年3月29日

【新しい高規格救急自動車について】

- ・乗車人員：7名以上 ・変速機：6速オートマチック
- ・駆動方式：フルタイム4輪駆動
- ・付 属 品：消防救急無線一式、自動体外式除細動器、自動胸骨圧迫装置等



▲購入予定と同規格の高規格救急自動車

予算決算委員会報告（補正予算）

国・県補助金等を活用しての事業実施 8,174 万円

〈主な事業〉

- 地域コミュニティ活動への補助金を交付・・・6,800 千円
コミュニティ助成事業において、設備や備品の整備に対して補助。
- 畜産農家等の生産基盤強化を支援・・・8,762 千円
畜産農家による生産基盤強化に対して補助。
- 付知 B & G 海洋センターの照明の LED 化を実施・・・21,120 千円
照明器具の LED 化と吊天井を撤去。
- 小中学校教員のタブレット端末を整備
GIGA スクール構想の実現に向け、教員用タブレット端末を整備。
(小学校運営事業 / 335 台)・・・26,238 千円
(中学校運営事業 / 215 台)・・・16,839 千円
- ふるさと岐阜の魅力体験事業の実施・・・663 千円
小中学生が、自然、歴史、産業等の施設見学や、森や水と親しむキャンプ等の活動。
- 法人保育所への施設整備交付金を増額・・・1,320 千円
国の補助基準変更に伴う、交付金の増額。(めぐみ・東さくら保育園)

緊急対応が必要な事業 3 億 5,158 万円

〈主な事業〉

- マイナポイントの申請支援窓口を設置・・・3,433 千円
マイナンバーカードが、保険証及び公金振込口座として利用できることに伴う、
窓口対応の充実。
- 中津川西部テクノパーク（坂本）の用地を購入・・・262,519 千円
地権者から譲渡の確約が得られたことによる、用地購入経費。
- 退職消防団員へ退職報償金を支給・・・63,357 千円
非常勤消防団員に係る退職報償金。132 名分。
- 特定不妊治療費助成事業の経過措置への対応・・・2,440 千円
令和 4 年度より、不妊治療は保険適用。
従前の助成制度の対象（令和 3 年度から年度をまたいだ治療）には、治療費を助成。
- HPV ワクチン（子宮けいがんワクチン）の定期接種等を実施・・・15,521 千円
接種勧奨が実施されなかった世代（平成 9～17 年度生まれ）に対し、
接種費用を助成。
- 亜炭鉱害による陥没を復旧・・・3,500 千円
亜炭鉱跡坑跡に起因する陥没が発生したため、亜炭鉱害復旧事業として、
復旧工事を実施。

予算決算委員会報告（補正予算）

6月補正予算の概要

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの 6 月補正【概要】をご覧ください。



■補正を行う会計

●一般会計・・・12億4,397万円

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策 8 億 515 万円

〈主な事業〉

- 市民生活応援プレミアム付商品券を販売・・・458,301 千円
原油価格・物価高騰に直面する市民生活を下支えするため。
- 住民税非課税世帯等に生活応援商品券を給付・・・153,917 千円
原油価格・物価高騰に直面する住民税非課税世帯と家計急変世帯を支援するため。
- 子育て世帯に生活応援商品券を給付・・・118,884 千円
原油価格・物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため。
- 学校給食等における食材高騰分を補填・・・36,228 千円
食材高騰分を公費で補填することで給食費の値上がりを抑制。
- 畜産農家の飼料購入代を助成・・・23,679 千円
粗飼料を利用する酪農及び和牛の生産農家を対象に、粗飼料購入代の一部を助成。
- 消防職員用の感染症対策用品を購入・・・2,917 千円
消防救急救助活動維持のためマスク、ゴーグル等を購入。
- 保育所施設の換気設備や給食調理室のトイレを改修・・・5,239 千円
保育所設備の衛生環境改善のため、換気設備導入（阿木・坂下保育園）と、
給食調理室トイレを改修（加子母・付知・福岡・高山保育園）
- 修学旅行等の中止に伴う支援・・・1,242 千円
修学旅行等が中止になった場合、関係費用を補助。
- PCR 検査費用を助成・・・2,700 千円
自費で検査を受けた市民に、費用の一部を助成。

寄付金を財源としての備品購入等 550 万円

〈主な事業〉

- 島崎藤村記念文芸祭の活動を支援・・・5,000 千円
藤村生誕 150 年と第 15 回の節目にあたり、賞金及び交付金増額。
- 市立図書館の児童図書を購入・・・100 千円
- 坂下地区の教育・保育用備品を購入・・・300 千円
小中、保育園の図書等購入。
(小学校教育充実事業、中学校教育振興事業、公立保育所事業)
- しあわせづくり基金へ積立・・・100 千円
今後の社会福祉事業に活用。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は9人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→  会議録はこちらから→ 



答
① 奨励措置と課税免除措置の二つの方法については一長一短があり、法人会計上の比較や国の財政措置の有無を調査・分析し、最適な支援策を検討します。
② 法人市民税は法人税と連動し、税収にも留意する必要があります。制度を導入している他の自治体の動向等の研究も踏まえ、長期的な課題として検討します。
(商工観光部長)

問
自主財源の確保を目指して
水野 賢一
既存事業所の事業継続・拡大および新規事業所誘致を睨み、都市間競争に打ち勝つためにもより効果的な優遇措置の制度設計を行い一刻も早く内外に向け戦略的に情報発信を行うべきです。
① 既存の企業立地促進条例中、事業所設置奨励金の奨励措置から課税免除措置への移行についての所見を伺います。
② 本社機能の誘致に限り、業種・施設の拡充および新たな優遇措置として、法人市民税の課税免除措置の創設についての所見を伺います。



答
① シルバー人材センターの試算では、段階的な経過措置期間を経て、令和12年度にはシルバー人材センターの負担増額は約690万円程度になると想定されています。
② シルバー人材センターは法人であり、まずはセンターの経営努力が最も重要と考えます。雇用制度の延長等により働く場が広がっており、会員が減少傾向にあります。市としては、広報等によるセンターの周知や補助金の交付による支援を行っており、今後も継続していきます。
(市民福祉部長)

問
インボイス制度とシルバー人材センターについて
鷹見 信義
インボイス制度は、シルバー人材センター会員、フリーランス等に消費税の取りこぼしを無くし新しく課税する制度です。
① シルバー人材センターの新たな消費税負担で、中津川市シルバー人材センターの負担はどのくらい増えますか。
② 中津川市シルバー人材センター事業が活性化し、高齢者の仕事や活動を拡充する市の政策はありますか。

常任委員会報告

市議会だより32号で報告を行った3常任委員会から中津川市への政策提言・申入れに対して、回答がありましたので、概要を報告します。

申入書、政策提言書の詳細はこちらから→



◆総務企画委員会

「移住定住の現状と課題についての申入れ」

○執行部からの回答

- ・若者世代に重点を置き、タイミングや使用メディアを効果的に組み合わせ、情報発信を行ってきました。今後も、提言内容を踏まえより戦略的な情報発信に努めます。
- ・相談にワンストップで対応できるよう、令和4年度上半期中に移住定住コーディネーターを雇用し、研修実施後、ワーカーサポートセンターに配置します。
- ・リニア開業効果を活かすことが中津川市の独自性をアピールすることになり、多様な施策とともに有機的に効果を発揮するよう各部や地域、各種団体等と連携して取り組みます。

◆文教民生委員会

「文化財の現状と課題に対する申入れ」

○執行部からの回答

- ・市内には文化財等を収蔵・展示する施設が約20ヶ所存在し、資料の一元管理は重要と考えます。一元管理するもの、地域で保存・展示するものの取捨選択等を含め、検討します。
- ・中断していた「落合宿本陣整備計画策定委員会」を再開し、令和6年度にかけて整備計画を策定し、国・県にもアドバイザーとして参加していただき、よりよい整備を進めます。
- ・活動されている方々と協議を行いながら団体との連携を深め、市全域で組織的に活動できる体制について検討していきます。

◆産業建設委員会

「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光施策に係る政策提言」

○執行部からの回答

- ・新たに発足した中津川市観光局が、観光産業の確立に向け滞在時間や観光消費額の増加など戦略的な観光施策の展開を図れるよう、CMO(マーケティング戦略を立案・実行する人)人材の確保及び外部専門家についても一定期間の派遣(財政支援)を行います。
- ・動画を活用した観光プロモーションについては、市のYouTubeでの配信やインスタグラムなどのSNSで発信するほか、中津川市観光局をはじめとした関連団体等とも共有を図り、市が持つ観光資源の魅力を最大限発信できるよう取り組んでいきます。

中津川市の災害対策について

櫛松 直子

問

避難所におけるさまざまな管理やボランティアの配置など、ICTを利用しての運営は避難者の負担を少なくすることにつながります。

①避難所運営にもICTの導入を検討していますか。

②中津川市の「防災行動計画」や「中津川市災害に強いまちづくり計画」などにDX化やICTの活用を盛り込む改定は検討していますか。

答

①他の自治体でも実証実験を行っているような段階です。当市としても他市の状況を収集し、どういったICT技術を活用できるか研究している段階です。

②迅速な災害対応を行い、速やかな外部への情報提供を目指し、現在、現場等からの災害情報をリアルタイムに集約し、マップ上に表示する等の機能を持たせたシステムの導入を検討しています。このような点を防災計画へ記載を行います。(総務部長)



原油価格・物価高騰による今後の支援について

田口 文数

問

新型コロナウイルス感染症の長期化、ウクライナ危機による原油価格・物価高騰によりガソリン・食料品の値上げが相次いでいます。

①給食費負担軽減のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用してはいかがですか。

②天然ガスや原油など発電用の燃料価格が高騰しており、電気代の値上げとなっております。中津川市の今後の電気代の見通しを伺います。

答

①学校給食の質を保持し、食材高騰分を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したいと考えています。(教育委員会事務局長)

②今後も世界情勢によっては燃料価格の高騰が続くと思われ、電気料金は、しばらくは高止まりで推移するものと考えています。(総務部長)



移住・定住について

吉村 孝志

問

移住・定住には、教育の充実が必要だと感じています。現在も各種補助金の施策が行われています。今回は、高校生の通学バスの補助金について質問します。

①令和3年度で通学補助金を利用している生徒は何人ですか。

②高校生の通学バスの全額補助金について、今後検討できませんか。

答

①高校生バス通学費補助金を利用した生徒は127人です。

②補助金利用生徒の保護者アンケートを行なっています。補助金増額後の令和4年度分については、現在56人の方から回答いただき、非常に満足45人、やや満足11人という状況であり、全額補助金について直ちに検討する状況にはないと考えています。今後については、社会情勢、バス料金の変動を注視するとともに、保護者の声を聴きながら対応していきたいと思っております。(定住推進部長)



学校給食の無償化について

木下 律子

問

コロナ禍で、物価が高騰しています。

①中津川市の学校給食の食材費への影響はありますか。

②中津川市として、物価高騰への対策についてどのように考えていますか。

③山県市は、市の一般財源で給食費の無償化をする方針を明らかにしました。中津川市はどのようにされますか。

答

①食材費への影響については、小学校は一人当たり29円程度、中学校では一人当たり35円程度です。

②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、食材高騰分を支援していきたいと考えています。

③中津川市では給食費の無償化については考えていません。学校給食法に基づき、保護者負担をお願いしていますが、経済的に困難している家庭については、要保護家庭は全額補助し、単要保護家庭には一部補助を行っています。(教育委員会事務局長)



持続可能な林業振興施策について

三浦 八郎

問

今年「木を植えよう びわ湖も緑のしずくから」を大会テーマに「第72回全国植樹祭」が2022が行われた滋賀県では、県内の小学校4年生を対象とした体験的な森林環境学習「やまのこ」に取り組んでいます。中津川市としても全ての学校の次代を担う子どもたちに森林環境学習として、周辺森林での体験型の学習を実施してはいかがですか。

答

市内の小中学校は総合的な学習の時間を活用して18校中10校が周辺の森林等を題材に取り上げた体験型を伴った学習を行っています。より多くの学校で森林の大切さなどについて学ぶ学習が展開されるよう他県の事例や地域の事例を紹介する取り組みを教育委員会としても行いたいと考えております。(教育長)

農林部では、林業グループが中学校と連携して取り組む森林学習に専門的な知識を持った講師の派遣を行っています。(農林部長)



帯状疱疹ワクチン接種について

糸魚川 伸一

問

国立感染症研究所の報告では、帯状疱疹の発症は年齢が関係しており、日本人では50代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するとされています。

①帯状疱疹ワクチンの接種をすすめる効果について見解を伺います。

②公費助成を図りひとりでも多くの方がワクチンを接種し、帯状疱疹で苦しむことがないようにすべきではないかと考えますが見解を伺います。

答

①帯状疱疹のワクチン接種の目的は発症率を低減させ、重症化を予防することであり、有効なワクチンであると考えています。

②現在国でも帯状疱疹ワクチンの定期予防接種化について研究されているところです。今後、国の動向を注視してまいります。(市民福祉部長)



令和3年度 各会派の政務活動費収支

(単位：円)

使途基準	会派	中津川自民クラブ (11人)	日本共産党 (2人)	市民クラブ (2人)	市議会公明党 (2人)	新政会 (1人)	無会派 (1人)	市民ネット (1人)
調査研究費		0	0	0	0	0	0	0
研修費		0	0	0	0	0	0	0
広報費		0	0	0	0	0	0	0
広聴費		0	240,000	0	0	0	0	0
資料作成費		0	0	0	0	0	0	0
資料購入費		0	0	0	0	0	0	0
合計額 ①		0	240,000	0	0	0	0	0
市交付額 ②		1,320,000	240,000	240,000	240,000	120,000	120,000	120,000
返還額 (②-①)		1,320,000	0	240,000	240,000	120,000	120,000	120,000

令和3年度 各会派の政務活動費による取り組み報告

中津川自民クラブ、市民クラブ、市議会公明党 無会派、新政会、市民ネット

従来の各自の活動は新型コロナウイルス感染症対策に配慮した上で、規模を縮小して行いましたが、令和3年度の会派の活動においては、新型コロナウイルス感染症対策・予防を最優先と考え、政務活動費を使用した視察や研修などは行いませんでした。

日本共産党

活動日：令和3年5月～12月（8ヶ月）

項目：市政アンケート

内容：新型コロナウイルスの感染症防止・くらしと生業の再生、リニア等のアンケート調査を行いました。全市に新聞折り込み、近所への手配りでアンケート用紙を配布し、返信を受けて調査しました。印刷枚数は25,000枚、折り込み枚数は21,000枚です。

6月末までに237通、12月末までに累計330通の返信を頂きました。市議会の一般質問などで回答を活用し、「民報なかつがわ」で報告しました。

成果：コロナ禍における収入の増減は、減った26%、変わらない72%、増えた2%でした。支出の増減は、減った15%、変わらない59%、増えた26%でした。PCR検査、ワクチン接種などに関する情報を求める声、コロナについての心配、困ったことなどが多数寄せられました。対策の強化が必要です。

政務活動費の詳細はホームページをご覧ください



令和4年度 市民と議会の対話集会（予定）

令和3年度同様、常任委員会ごとにテーマを決め、市民と議会の対話集会を行う予定です。日程等詳細が決まりましたらホームページ等で報告いたします。



答

① 拡大部分の対象者人口の見込みは、令和5年度2075人、令和6年度2095人、令和7年度2119人、令和8年度2056人、令和9年度2021人です。
② 年間で約6千万円の予算が必要になると見込まれます。
(市民福祉部長)

② その場合予算はいくら必要ですか。

① 令和5年4月から18歳3月末まで事業を拡大した場合の対象人口を教えてください。
② 令和5年4月から18歳3月末まで事業を拡大した場合の対象人口を教えてください。

年度	事業決算金額
平成27年度	341,125,478円
平成28年度	324,083,475円
平成29年度	309,143,702円
平成30年度	300,471,584円
令和元年度	303,536,490円

乳幼児医療費助成事業(中学生まで)

問

高等学校卒業(18歳3月末までの子供の医療費の無償化について)

黒田とこ

市議会の様子を映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧ください。

● ライブ中継

本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

● 録画映像

録画映像を会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。パソコンの他、スマートフォン、タブレットでの視聴も可能です。

詳しくは、中津川市のホームページ「中津川市議会 映像配信」をご覧ください。

市議会への直行使

市のホームページには、市民の皆様からの声をいただく「議会への直行使」があります。皆様の声をお待ちしています。



特別委員会報告

◆ 病院・医療等対策特別委員会 6月17日

「坂下診療所・坂下老人保健施設民営化に向けた公募について」

これまでの経緯の中で、2つの法人が興味を示しており、運営事業者に要望する主な内容として、「内科、透析医療については必須」、「その他の診療科については運営事業者の提案とする」、「老人保健施設80床を継続することを要件とする」等の他に、入院診療・入居介護施設や民営化希望時期等についての説明を受けました。これに伴う課題もいくつかあり、病院事業部としては、公募型プロポーザル方式で行い、1位となった提案者(法人)と具体的な協議および交渉を行うということです。

※公募型プロポーザル方式…業者の参加を公示により募り、複数の業者に目的物に対する提案をしてもらい選定する方式

市議会公明党 2名

田口文数 糸魚川伸一

物価・原油価格高騰による生活支援について

- ・**取り組み理由**：ロシアによるウクライナ侵略により、物価上昇、原油価格高騰で生活苦となる方への支援が必要となります。
- ・**取り組み内容**：企業や市民の方に現状をお聞きして行政として支援できることを調査、研究して要望していきます。

無党派 1名

粥川茂和

①地域農業振興の組織協議について ②教育施設統合議論の活性化について

- ・**取り組み理由**：
 - ①地域農業を守り農地の荒廃を防ぐため、地域の特性に応じた振興策を模索し、推進してゆく仕組みづくりが必要です。
 - ②子どもが学ぶ環境整備と、地域活性化の両論を深め、地域自治活動の在り方を見出すことが必要です。
- ・**取り組み内容**：
 - ①地域内に農業振興協議組織を設立し、目標達成に向けた具体取組みを行います。
 - ②教育施設の統合と地域活性化の方策について、議論を尽くすべく地域に働きかけます。

新政会 1名

三浦八郎

住民福祉の向上のための政策提言について

- ・**取り組み理由**：地方自治の本旨は住民福祉（住民の幸福）の向上です。中津川市議会基本条例の趣旨に基づき、市民への情報の提供と共有化、説明責任を果たす「開かれた議会」「分かりやすい議会」「市民の参加する議会」を目指すことが住民福祉の向上につながります。
- ・**取り組み内容**：住民への積極的な情報の公開、住民の思いを知るための意見交換、地域づくりのための研究・研修などにより、住民福祉の向上につながる政策提言を進めます。コロナ禍のため積極的にオンラインを活用した研究・研修や視察に取り組みしていきます。

市民ネット 1名

黒田とこ

①持続可能な地域防災力の強化 ②子育て支援 ③男女共同参画の推進

- ・**取り組み理由**：令和3年の大雨災害等をもみても、持続可能な地域防災力の強化が必要です。ウィズコロナの時代、様々な形で子育て支援の充実が求められています。女性目線での防災が必要となってきています。
- ・**取り組み内容**：地域防災力の強化として、持続可能な自治防災会の研究と提案をします。子育て支援、特に学童保育の充実について研究、提案をします。災害避難所運営や地区防災計画策定での女性の参加を研究、提案していきます。

令和4年度 各会派の取り組み

中津川自民クラブ 11名

島崎保人 水野賢一 吉村孝志 長谷川透 宮嶋寿明 鷹見憲三
大堀寿延 勝 彰 岡崎隆彦 吉村浩平 柘植貴敏

持続的な市政発展の取り組みについて

- ・**取り組み理由**：リニア開業を間近に控え、今取組むべきものを確実に推進するとともに、合併特例債終了後の持続的な健全財政運営の方向性を示す必要があります。
- ・**取り組み内容**：「リニアを活用したまちづくり構想」の実現に向け、課題解決と事業推進のための政策提言に取り組みます。
 - ・リニア開業に向けた社会基盤整備の推進
 - ・移住定住促進事業の推進
 - ・アフターコロナを見据えた地域経済活性化

日本共産党 2名

鷹見信義 木下律子

コロナ禍・ロシアによるウクライナ侵略戦争危機の中、市民の命とくらしを大切にする市政、気候危機打開、ジェンダー平等をすすめる市政について

- ・**取り組み理由**：コロナ感染症が収まらず、ロシアによるウクライナ侵略で平和が脅かされるなかで、市民は命の大切さを実感しています。コロナ禍・戦争危機のなかで、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。CO₂削減をすすめ、性差別や格差をなくし、誰もが自分らしく生きられるジェンダー平等の市政をめざします。
- ・**取り組み内容**：いのちとくらしを守る、気候危機の打開、ジェンダー平等をすすめるために、何が必要かを調査・研究し、対策を提言していきます。

市民クラブ 2名

櫛松直子 牛田敬一

行政改革について

- ・**取り組み理由**：新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の財政状況の見通しが立たない状況にはありますが、アフターコロナも十分見据えた財政健全化を図っていく必要があります。また、リニア中央新幹線関連事業などの大型事業を円滑に進捗させるためにも、予算管理はさらに重要だと考えます。同時に、今後の市民の皆様への支援などを過不足なく行うためにも、選択と集中が不可欠です。歳入の可能な限りの維持拡大を図ることと同時に、事業の見直しや効率化について提言を行うなど、引き続き「行政改革」に取り組みしていきます。
- ・**取り組み内容**：行政改革の調査、研究

市制 70 周年記念式典を盛り上げた 市内の高校生と賤乃手振り保存会



市制 70 周年記念式典では、中津川市の未来を担う市内5つの高校生と、伝統芸能「賤乃手振り保存会」がステージを盛り上げてくれました。



中津商業高校バトントワーリング部の演技



中津高校は司会、書道部によるテーマ題字の作成を担当



中津川工業高校の吹奏楽の演奏



阿木高校は表彰者・来賓への480セットの手作りのりんごとお茶ジャムを記念品として提供



受付では坂下高校のギター・マンドリン部が歓迎



伝統芸能 賤乃手振り保存会 「長唄 恵那山」を披露

議会開催状況 3月30日～6月30日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(2回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(2回)
議会運営委員会	(7回)
議員連絡協議会	(2回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)

令和4年9月定例会の日程

8月29日(月)	10時	本会議(初日)
9月7日(水)	10時	一般質問
9月8日(木)	10時	一般質問
9月12日(月)	10時	文教民生委員会
9月13日(火)	10時	産業建設委員会
9月14日(水)	10時	総務企画委員会
9月15日(木)	10時	予算決算委員会
9月22日(木)	10時	本会議(最終日)

編集後記

5月19日に開会した5月臨時会で今年度の議会役職が決められました。柘植議長、牛田副議長を中心に「市民に開かれた議会」、「市民に分かりやすい議会」づくりを推進し、「市民の参加する議会」を目指します。

今年度の議会報編集委員は昨年度と同様のメンバーとなりました。昨年お願いした議会報アンケート結果などをもとに、より分かりやすい紙面作成を目指してまいります。



▲編集委員